

堤防の水防工法一覧表

異常の種類	状 態	適 当 工 法	同 種 工 法	主 な る 水 防 作 業	施 工 箇 所	河 状
溢 水	堤高不足で溢水する	積 土 俵 工	蛇 籠 積 工 ・ 堰 板 工	堤防の高さを増加して溢水を防ぐ。	天 端	
	溢水が裏法を洗掘するおそれがある	裏 席 張 工		堤防法面の沈壊を防ぐ。	川 裏 法 面	
漏 水	表 法 の 吸 込 口	詰 土 俵 工	畳 張 工	水圧を利用して吸込口を防ぐ。	表法吸込口	吸込口 小
		席 張 工 (継ぎ席張工)			表法吸込口付近 (浸透箇所)	吸込口が判然として ないとき。
	堤 防 裏 の 漏 水	月 輪 工	小さな時は樽伏せ工 (コンクリート管等)	漏水を適当水位に支えて水圧によって漏水量を減じ、その勢を減じて破壊力の減少せしめる。	裏小段・裏法尻 樋管表	
		釜 段 工			裏小段・堤内平地等の平坦部	
	樋 管 か ら の 漏 水	畳 張 工	席 張 工	川表における吸込口を水圧を利用して防ぐ。	樋 管 表 口	
		月 輪 締 切				
川 表 の 欠 け 崩 れ	堤 脚 護岸脚部の欠崩	捨 石	捨 石 俵	流水の方向をさけ流速を減少させる。	堤脚又は護岸脚	急流部・礫堤
		立 籠 入				急流部・中流部
		枠 入 れ 工	川 倉 ・ 牛 枠 等			各 所
		木 流 工	竹 流 工			緩 流 部
		席 張 工				
	堤 腹 の 欠 崩	木 流 工	竹 流 工	流速を減少法覆する。	表 法	各 所と併 が用 あす る。こ
		席 張 工	畳 張 工	法 覆		緩流部土砂堤
		築 廻 工		表法欠壊大きく堤防の厚さ不足の場合これを補強する。	表 法 ・ 裏 法	各 所
		竹 網 流 工		法 覆	表 法	緩 流 部
	裏 法 の 欠 け 崩 れ	杭 打 積 土 俵 工		滑面以下の堅盤を竹又は杭でぬい付け土俵の重みを加えて押さえる。	裏 法	各 所
		土 俵 羽 口 工	柵 搔 き 詰 土 俵 工	欠壊した部分の埋め堅盤に杭をさしとめ法覆をする。		
		五 徳 縫 工	籠 止 め 工 力 杭 打 ち 工	滑面下の堅盤を竹又は杭でぬい付けて滑動を止める。		急 流 部
		立 籠 入		法 覆		
亀 裂	天 端 の 亀 裂	折 返 し 工		堅い地盤へ竹又は杭をさし竹又は鉄線でしめつけ亀裂の拡大を防ぐ。	天 端	土砂堤又は飽水時砂利堤
		杭 打 継 ぎ 工				
	天端及び裏法の亀裂	控 取 り 工	継 ぎ 縫 工	天端及び堤尻の堅盤に竹又は杭をさして押え亀裂をしばって拡大を防ぐ。	天端から裏法尻	土 砂 堤
		五 徳 縫 工		下の堅盤を竹で縫い付ける。	天 端 又 は 裏 法	